



絵本を楽しもう📖

📖 皆さんは、親子でどのようなコミュニケーションをとっていますか？

身近にある「絵本」とその読み聞かせの魅力についてご紹介しましょう(^ ^)

その1【絵本のメリットとは？】

- ・想像力を育て、感情を豊かにする。（登場人物の気持ちを疑似体験して喜怒哀楽の感情を育むオアシス！）
- ・言葉の表現を知り、国語力アップ（語彙力や読解力が身につく、コミュニケーション能力、学力向上）

その2【読み聞かせのメリットとは？】

- ・自己肯定感を養う。（自己肯定感が育まれた子どもは、気持ちが安定し、積極的に物事に取り組むようになる）
- ・絵本を読む声は、子どもに安心感を与え、親子の親密度が高まる。

その3【読み聞かせのコツとは？】

- ・読み手も一緒に楽しむ。⇒子どもは大人の感情を敏感に感じ取るもの。
- ・子どもの反応を見ながら、読むペースを工夫する。
- ・静かで落ち着く環境がベスト⇒子どもは気が散りやすいので、おもちゃを片付け、テレビを消して環境を整える。

夜、寝かしつけに時間がかかっていますか？

寝る前のちょっとした時間に読み聞かせを習慣にすると、その後の寝かしつけがスムーズになる事があります。

☆ オススメの絵本《年齢別》 ☆

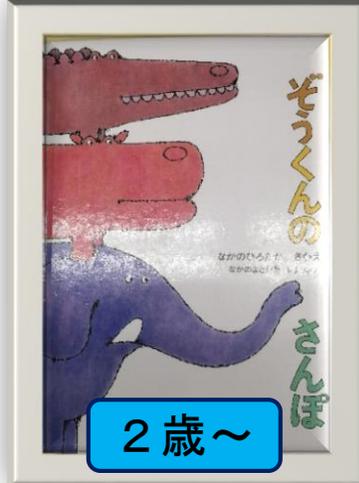
「だるまさんシリーズ」



かがくいひろし
作
ブロンズ新社
新書

0～2歳

「ぞうくんのさんぽ」



なかのひろたか
作
福音館書店
絵

2歳～

「そらいろのたね」



中川李枝子
作
大村百合子
絵
福音館書店

4歳

「きょうはなんのひ？」



瀬田貞二作
林明子絵
福音館書店

5～6歳

- 0歳・・・愛着を形成し成長の土台となる頃。大人との関わりを楽しみましょう。
- 1歳・・・想像力が身につく言葉やイメージで思い描くことができるようになってくる頃。起承転結のあるストーリー絵本にも触れてみましょう。
- 2歳・・・毎日の生活習慣が身についてくる頃。その生活に寄りそった内容や主人公に感情移入ができる内容に触れてみましょう。また、言葉の面白さや響き、リズムを楽しめる絵本もお勧めです。
- 3歳・・・好奇心が旺盛なので、ストーリーのあるお話しなど、想像力を膨らませてくれるような絵本との出会いを大切にしましょう。
- 4歳・・・自己主張が強くなり、友達との衝突が増えてくる頃。人の気持ちや人間関係を扱った絵本や、夢中になれる図鑑やヒーローものも良いでしょう。
- 5～6歳・・・様々な物語絵本との出会いの中で想像力が培われていく頃。ストーリーをしっかりと理解できるため、複雑で長いものにも少しずつチャレンジしてみましょう。また、数日かけて長いものを読むのも良いでしょう。

